

セカンドステップ

No. 6

発行日：令和6年3月11日

発行：北海道教育庁オホーツク教育局

教育支援課義務教育指導班

中学校第2学年保健体育

北見市立南中学校

単元名：器械運動（本時は「跳び箱運動」9時間扱いの5時間目）
本時の学習

本時は、かかえ込み跳びを学習する。器械運動は、技がよりよくできることや自己に適した技に挑戦し、楽しさや喜びを味わうことができる運動である。各自の課題設定の段階において、自己の能力を適切に判断し、練習の進め方や場の工夫等を考え段階的な学習をするために、習得した基本的な知識や行動観察の方法を活用させるグループ活動や場の設定を位置付け、ICT端末を効果的に活用することにより、自己の課題に応じた取り組む力、動きのよさや美しさを見分ける力を養うことがねらいである。

<本時の目標>

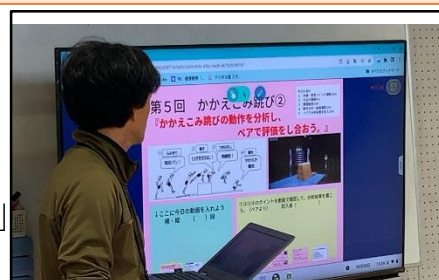
提示された練習方法から、自己の課題に応じて、技の習得に適した練習方法を選んでいる。

（思考力・判断力・表現力等）

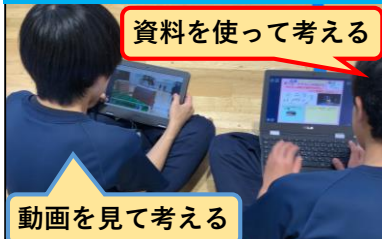
<授業の流れ>

- 主運動につながる準備運動後、本時の目標を提示する。
「かかえこみ跳びの動作を分析し、ペアで評価し合おう。」
- 前時までの学習から、自己の目標や課題を確認させる。
- 多くの生徒が困っていることに着目させ、課題を提示する。
「滑らかな動きにつながる着手位置や姿勢等を説明しよう。」
- 少し時間をとり、個人思考後、ペアで交流させる。
- 自己の目標や課題に適した練習、場を選択し取り組ませる。

自他の課題について主体的・協働的に解決していく場面を意図的・計画的に設定



単元や単位時間の目標を共有し見通しをもつことにより、主体的な活動につながります。



資料を使って考える



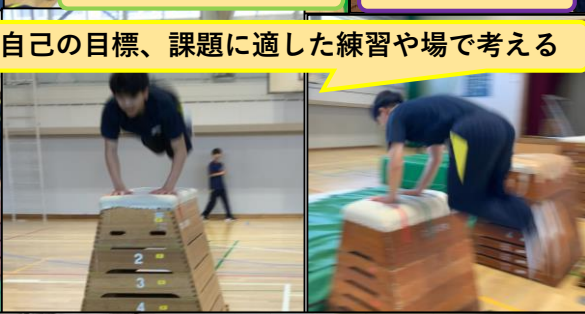
ペア交流で考える



助言で考える



自己の動きと見本の動き等と比較することで、**根拠をもって仲間と教え合えるようにする**ことが大切です。

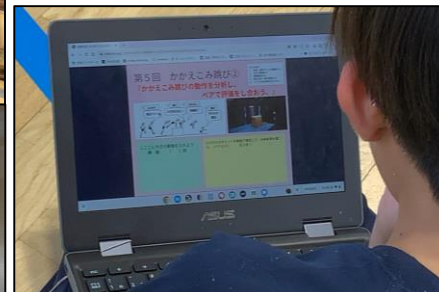


自己の目標、課題に適した練習や場で考える

個々の目標や課題によって、着目するポイントが変わるため、撮影する位置を工夫します。



全体に係る課題を共有して考える



映像やコメントを加えたワークシートにすることで、**生徒の考えや活動を結び付けて把握**ことができ、思考・判断・表現の評価の参考にすることができます。

保健体育科では、技能に偏ることなく、3つの資質・能力をバランスよく育成するため、学習指導要領解説に示されている「例示」を参考にしながら、指導内容を整理し、生徒自らが既習事項を活用し、課題を主体的・協働的に解決する場面を設定することが大切です。